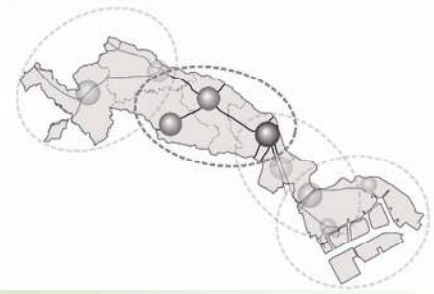


IV 中部エリア

東急東横線、田園都市線沿線等の地域で、中原区、高津区及び宮前区を含む範囲



1 中部エリアの特徴

(1) 市民の行動

- ・通勤や買い物等の市民の行動圏は、東急東横線、東急田園都市線に沿って、渋谷方面や横浜方面に広がっているほか、JR南武線に沿って川崎駅方面にも広がっています。
- ・市民の買回り品の購入や娯楽・レジャー等を目的とした行動は、都心方面や横浜方面の近隣都市の利用が多い傾向となっています。

(2) エリア内の交通特性と拠点地区

①交通特性

ア 鉄道ネットワーク

- ・放射方向に市域を貫き、都心方面から横浜方面へと延びる東急東横線と東急田園都市線によって広域的な鉄道ネットワークが形成されており、市域を縦断するJR南武線が武蔵小杉駅と溝の口駅でこれらの鉄道路線と接続しています。
- ・東急東横線と東急田園都市線の鉄道利用者が多く、都心方面と横浜方面を結ぶ重要な鉄道路線となっています。

イ バス等の交通ネットワーク

- ・武蔵小杉駅等の拠点地区や東急田園都市線の各駅などから、沿線の住宅地等を経由し、他の鉄道路線の駅や大型病院等のバスターミナルに接続する路線バスのネットワークが形成されています。
- ・山坂が多く、駅勢圏に比べ本エリアの奥行きが広いため、路線バスによる駅へのアクセスが多くみられます。

②拠点地区

ア 広域拠点：小杉駅周辺地区

- ・駅前広場や道路等の整備にあわせて、商業・業務・医療・都市型住宅等の都市機能の集積が進められています。

イ 地域生活拠点：溝の口周辺地区、鷺沼・宮前平駅周辺地区

- ・溝の口周辺地区では、交通結節機能の強化や商業・業務、文化機能の集積に向けた取組が進められています。
- ・鷺沼・宮前平駅周辺地区では、交通結節機能の強化や商業・業務・文化等の諸機能の集積に向けた取組が進められています。

(3) 東急東横線・東急田園都市線等

①鉄道沿線の主な拠点地区

- ・東急東横線、東急田園都市線の鉄道沿線には、我が国の代表的な文化発信地である渋谷駅や横浜駅があり、それらの拠点では、大規模な業務施設や商業施設等の高次な都市機能の集積がみられます。
- ・東急田園都市線における市民の行動では、隣接都市の二子玉川駅やたまプラーザ駅の利用割合が高い傾向にあり、それらの駅では、大規模な業務施設や商業施設等の都市機能の集積がみられます。

②鉄道沿線の人口動態

- ・市外を含めた鉄道沿線全体では、今後、人口減少の進展が見込まれている一方で、市内の東急田園都市線沿線では人口増加が見込まれています。
- ・エリア内の鉄道沿線では、急激な高齢者の増加が見込まれています。

③鉄道沿線の動向

- ・東急電鉄と川崎市で包括連携協定を結び、鉄道を主軸とする駅を中心としたまちづくりと鉄道沿線の特性に応じた利便性の充実、暮らしを支える持続可能なまちづくりに向けた取組を進めています。
- ・横浜市西部と東京都心部を結ぶ神奈川県東部方面線事業として、相鉄線とJR線の相互直通運転（相鉄・JR直通線）や相鉄線と東急線（相鉄・東急直通線）の相互直通運転に向けた取組が進められており、東急東横線武蔵小杉駅から新横浜駅へ直接アクセスできるなど、広域的な交通利便性の向上が図られます。

(4) 土地利用

- ・本エリアでは、住宅系土地利用が多く、特に東急田園都市線沿線では、鉄道の延伸とあわせて一体的に形成された住宅地が広がっており、また、鉄道沿線から離れた市街地では、主に戸建て住宅を中心とした住宅地が形成されています。
- ・中小工場の集積地がある中で、工場跡地が住宅に転用され、住工混在が進展しています。
- ・JR南武線・東急東横線沿線には、工業都市としての本市の発展を支えた古くからの住宅地が形成されています。
- ・市内では、中原街道、大山街道等の歴史・文化的資源が東急東横線、東急田園都市線沿線に残されています。
- ・自然的土地利用の割合が他の生活行動圏に比べ高く、多摩川の河川敷や多摩川崖線の樹林地、等々力緑地、二ヶ領用水等の豊かな自然的資源を有しています。
- ・都市農地が多く存在し、生産緑地が他のエリアより多く指定されています。

2 中部エリアの課題**①拠点等の整備とその効果の効果的・効率的な波及**

- ・本エリアの拠点地区である小杉駅周辺地区、溝口駅周辺地区及び鷺沼・宮前平駅周辺地区の都市機能の集積効果や整備効果を高めるとともに、その効果を効果的・効率的にエリア全体に波及させていくため、拠点整備と連携した鉄道沿線の取組が必要となります。
- ・鉄道沿線の近隣都市拠点である二子玉川駅及びたまプラーザ駅等の都市機能の集積から生じる様々な需要を捉えた沿線まちづくりが必要となります。

②交通環境の利便性の向上

- ・本エリアは奥行きが広く、高低差のある丘陵部に住宅地が広く分布しているため、駅からの距離や地形、道路環境の特性等も考慮したうえで、市民の暮らしを支える身近な駅へのアクセスの向上が必要となります。
- ・JR南武線や東急田園都市線の一部駅では、ピーク時の旅客集中によるホーム上の混雑が生じており、混雑緩和に向けた対策が必要となります。

③地域資源の活用

- ・地域資源の活用による多様な交流の創出を図るため、多摩川や多摩川崖線の樹林地、二ヶ領用水等の自然的資源や大山街道・中原街道の歴史的な街なみ等を、本エリアの特徴的な地域資源として、

まちづくりに活かしていくことが必要となります。

④高齡化等が進む地区への対応

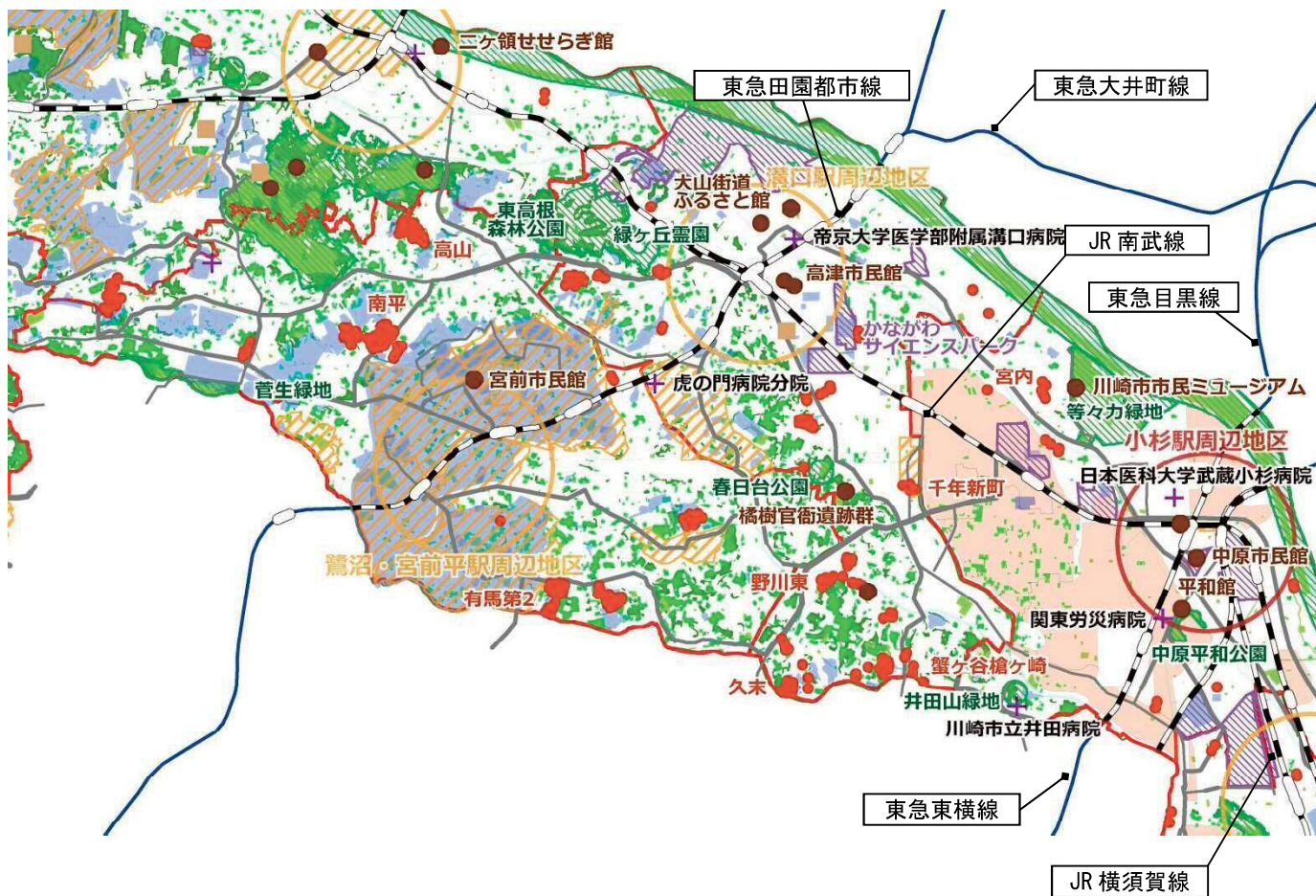
- ・東急田園都市線の延伸とあわせて一体的に形成された市街地では、同時期に同世代の入居が進んだため、今後急激な高齡化や建物の高経年化が進行することが懸念され、その対応が必要となります。

3 中部エリアの都市構造

1 鉄道		東急東横線、東急田園都市線、JR南武線、JR横須賀線、東急目黒線、東急大井町線
2 地域生活ゾーンの形成		概ね中原区域、高津区域及び宮前区域
3 拠点地区	①広域拠点	小杉駅周辺地区
	②地域生活拠点	溝口駅周辺地区、鷺沼・宮前平駅周辺地区
4 主な施設等	①身近な駅 (拠点地区以外)	東急東横線：新丸子駅、元住吉駅 東急田園都市線：二子新地駅、高津駅、梶が谷駅、宮崎台駅 JR南武線：武蔵中原駅、武蔵新城駅、津田山駅、久地駅
	②病院 (一般病床300床以上)	帝京大学医学部附属溝口病院、虎の門病院分院、日本医科大学武蔵小杉病院、関東労災病院、川崎市立井田病院
	③産業・研究開発	かながわサイエンスパーク
	④公園緑地 (市民健康の森含む)	多摩川緑地、等々力緑地、中原平和公園、東高根森林公園、緑ヶ丘霊園、菅生緑地、井田山緑地、春日台公園
	⑤その他	市営住宅： 中原区 7か所（宮内 等） 高津区 24か所（蟹ヶ谷槍ヶ崎、千年新町、野川東、久末 等） 宮前区 12か所（有馬第2、高山、南平、鷺ヶ峰 等） 中原市民館、高津市民館、宮前市民館、平和館、川崎市市民ミュージアム、大山街道ふるさと館、二ヶ領せせらぎ館、橘樹官衙遺跡群

第1部 改定の趣旨等
第2部 まちの現状・課題
第3部 都市づくりの基本理念
第4部 分野別の基本方針
第5部 生活行動圏別の沿線まちづくりの考え方
第6部 計画の実現・推進方針

【中部エリアの地域特性】



凡例

- | | | | |
|--|------------------|---------|--|
| | 主要鉄道 | | 土地区画整理事業 |
| | 路線バス（100本以上/日） | | 耕地整理 |
| | 主な病院（一般病床300床以上） | | その他、宅地開発
※5ha以上の開発許可等。
一部工業跡地利用(2ha以上)含む |
| | 主な産業・研究開発 | | 市域・行政区 |
| | 主な公園・緑地 | H22土地利用 | |
| | 市営住宅 | | 農地 |
| | 文化施設等 | | 山林 |
| | 大学 | | 河川・水路・水面 |
| | | | 公園・広場・緑地等 |

第1部

改定の趣旨等

第2部

まちの現状・課題

第3部

都市づくりの基本理念

第4部

分野別の基本方針

第5部

生活行動圏別の沿線まちづくりの考え方

第6部

計画の実現・推進方策

4 中部エリアのまちづくりの考え方

(1) 広域拠点（小杉駅周辺地区）

- ・都心から放射状に延びる主要な鉄道路線が複数乗り入れる本市の主要なターミナル駅としての特性を活かすとともに、近隣都市拠点（渋谷・横浜等）の都市機能を意識しながら、商業・業務、文化・交流、医療・福祉、教育、研究開発、子育て支援、防災・安全等の様々な都市機能のコンパクトな集積を図り、市内外から人を呼びこむことができる個性と魅力にあふれた広域拠点の形成をめざします。

(2) 地域生活拠点（溝口駅周辺地区、鷺沼・宮前平駅周辺地区）

- ・溝口駅周辺地区は、本市における主要な駅としての特性を活かすとともに、隣接都市（二子玉川等）との連携・調和のもと、商業・業務、文化、良質な都市型住宅等の諸機能の集積を図るとともに、歴史的・文化的資源や地域に密着した商店街等を活かした、地域生活ゾーンの核となる拠点の形成をめざします。
- ・鷺沼・宮前平周辺地区は、本市における主要な駅としての特性を活かすとともに、隣接都市（たまプラーザ等）との連携・調和のもと、商業・業務、文化、良質な都市型住宅等の諸機能の集積及び交通結節機能の強化を図り、地域生活ゾーンの核となる拠点の形成をめざします。

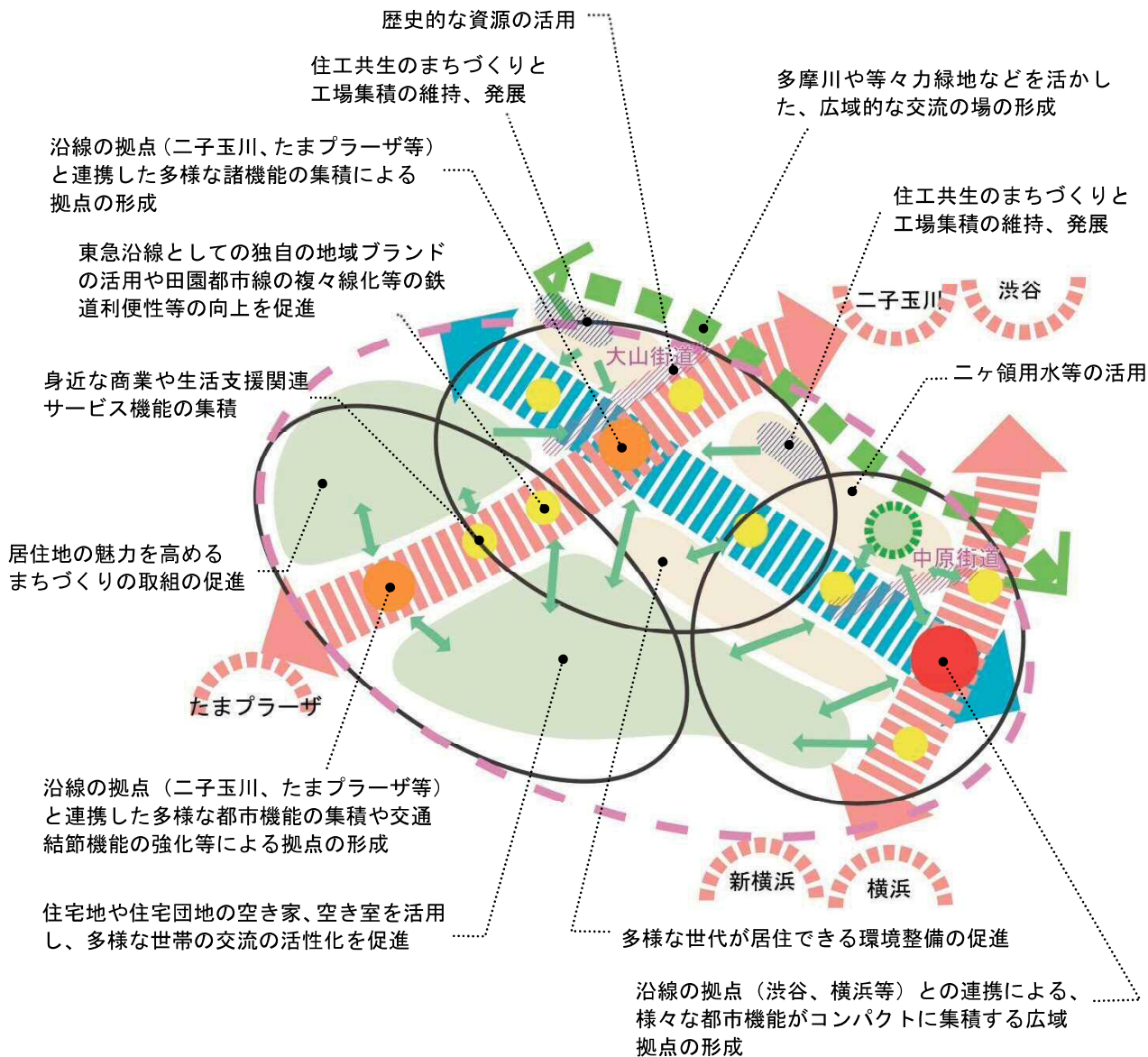
(3) 身近な駅周辺／鉄道沿線

- ・鉄道沿線の拠点地区と連携することで機能の分担を図り、地域住民の暮らしを支える身近な商業や生活支援関連サービス機能の集積をめざします。
- ・歴史的資源である大山街道等を活かした街なみづくりや、東急沿線としての独自の地域ブランドを活かし、鉄道沿線の魅力の向上をめざします。
- ・駅周辺では、人口が増加している地区が多いことから、多様なライフスタイルに対応した新たな住宅や住まい方の誘導を図り、また、鉄道駅周辺における高い利便性を活かし、住み替えの円滑化やコミュニティ形成の促進等による多様な世代が居住できる環境整備の促進をめざします。
- ・駅の橋上駅舎化や踏切の安全対策などにより、鉄道による地域分断の改善や踏切を横断する駅利用者への安全性・利便性を高め、駅へのアクセス向上を図ります。
- ・東急田園都市線の複々線化やJR南武線の長編成化等による鉄道の利便性や快適性の向上を促進します。

(4) エリア全般

- ・エリア内の奥行の広さや高低差のある地形等、本エリアにおける地域特性を考慮し、サービスの向上による公共交通の利用促進を図り、駅や駅周辺へのアクセスの向上をめざします。
- ・多摩川や等々力緑地等の本市を代表する地域資源を活かし、アクセスの向上や魅力の発信を通じ、広域的な交流の場の形成をめざします。
- ・二ヶ領用水、多摩丘陵の樹林地、都市農地等を活かし、身近な地域が連携する交流の場の形成をめざします。
- ・住宅地と工業地が共生したまちの形成をめざし、住民の住環境と中小製造業の操業環境の調和を図りながら、工業集積の維持、発展を促進します。
- ・良好な居住環境を有する計画的に整備された住宅地や住宅団地の空き家、空き室を活用して、多様な住まいや地域交流等の場の形成を図り、多様な世帯の交流による、地域コミュニティの活性化に取り組むなど、居住地の魅力を高めるまちづくりの取組を促進します。

中部エリアのまちづくり概念イメージ図



凡例

	広域拠点		都市軸（放射方向）		生活行動圏		主な公園・緑地
	地域生活拠点		都市軸		地域生活ゾーン		主な産業・研究開発
	身近な駅周辺		駅や駅周辺へのアクセスの向上		多摩川		平たん部居住地
							丘陵部居住地

第1部 改定の趣旨等

第2部 まちの現状・課題

第3部 都市づくりの基本理念

第4部 分野別の基本方針

第5部 生活行動圏別の沿線まちづくりの考え方

第6部 計画の実現・推進方策